

編集

三好市役所総務部秘書人事課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

http://www.city-miyoshi.jp/



QRコードからアクセス

□ 編集後記

三野町には、町史出版記念事業として建てられたふるさと標柱が町内の至る所にあります。今回の探訪では、その中から青蓮寺に祀られている「みのり地蔵」を取材。住職からは、みのり地蔵に関わるお話や河内音頭でその由来を紹介したCDも聞くことができ、当時の大干ばつに苦しんだ農民の様子やみのり地蔵に込められた思いを知ることができました。地域の物語をもっと知りたい、もっと伝えたい、そんな気持ちが新たに湧いてきました。(近)

毎年8月4日に行われている「箸供養」へ初めて行きました。天候にも恵まれたこの日、約280段の石段を登るだけでも大変なのに、法被姿の小学生らが、大きな箸を載せたみこしを担ぎ、大汗をかきながら懸命に登っている姿は圧巻でした。石段を登り終えると気温と護摩を焚いている炎の熱さで喉はカラカラ。そんな中、炎の近くで写真を撮っていると、香川県から来たご夫婦がよく冷えたスポーツドリンクを差し入れてくれました。喉は潤い、身体はよく冷えましたが、心は温かい気持ちになりました。(川)

三好市探訪



みのり地蔵

— 三好市三野町勢力 —

文化3(1806)年、勢力村(現三好市三野町勢力)で起こった丸亀藩への逃散の首謀者の霊を悼む地蔵さんが、勢力の青蓮寺に残っています。

境内の石碑には、「文化年間の大かんばつに租税の免除を願ってしたが、聞き入れられず、更に苛酷な条件を強いられたので座して死を待つよりと全村あげて、香川県へ逃散した。藩では内済を条件に人々を引き戻したが後日取調べが行われ、庄屋は役を取り上げられ首謀者は捕えられ、入牢処刑場の露と消えた。村人は、その亡骸を密かに、夜中当所境内に運び埋葬、勢力、芝生、加茂野宮の人達により、みのりの地蔵尊をつくり、三人の霊を慰めると共に、作物の豊かな稔りを祈願した」と書かれています。

後年三村用水が作られ、三村に豊かな水田を開く契機となったことと農作物の豊かな実りを祈願して「みのり地蔵」と呼ばれるようになりました。